

大学選びをしている高校生の皆さん、大学生活を過ごした後にどんな未来が待っているか、考えたことはありますか？ もちろん、目の前の進路を定めることは大事です。しかし、ここでは少し気分転換をして、大学生活の少し先にある未来を想像しながら読んでみてください。

まずは、私の自己紹介を。明治大学商学部を卒業後、『総合商社』と呼ばれるある企業で働いています。全世界に拠点を持ち、原油の輸入、太陽光発電所の経営、ジェット機の海外販売、ありとあらゆる事業を行う活気ある風土に惹かれ、入社しました。

志望理由の一つは、「経営的な仕事ができると思った」からです。では、なぜそれが志望理由になり得たのか。それは商学部での、ある体験に原点がありました。

私が所属していたゼミでは、特定の企業を選んで、いかにしてその企業の経営を改善するかを約8ヶ月間、5人のメンバーとともに考え議論し、自分たちなりの答えを発表するという活動がありました。まず、選定した企業を「知る」ことに努めました。集めた情報を分析すると、そこには多くの課題が山積みになっていることが明らかになり、その解決策をメンバーと議論しました。解決策が思いつかず頭を

「自ら創る 学生生活」のすすめ

OB MESSAGE

抱えたり、メンバー間での衝突があったりと、苦難もありましたが、結果的には自分たちなりの「答え」を出せました。この経験を通して「正解がない世界で、自分たちなりに答えを見い出すことの大切さ」に気づき、『仲間との絆』を得ることができました。現在私は、パートナーの企業に対して「顧客へのサービスの質を高めるなら、こうしてみては？」「新規事業と一緒に立ち上げてみましょう」など、経営全般の改善策を提案し、実行をサポートする仕事をしています。一枚上手の上司や、出身学部が違う部下とともに働くのは骨が折れますが、チーム一丸となり「正解のない答え」を出すべく日々奔走しています。学生時代の経験が、まさに仕事に活きています。

ここ明治大学商学部では、さまざまな考えを持った仲間に出会えると私は思います。幅広く関心を持ち、自分の頭で納得のいくまで考え、仲間と議論して出した答えを思い切って実行する場として、商学部を最大限活用してみたいかがでしょうか。この冊子を手にした皆さんが、商学部で大学生活を送り、将来自分が本当にやりたいことが見つけられるよう願っています。

真田 諒
2007年 商学部卒業
三菱商事株式会社 勤務

現場で学ぶ。世の中が見えてくる。

現場とは、まさにビジネスが行われている場所。私たちの考えはシンプルです。ビジネスで生きる能力は、ビジネスの中でこそ鍛えられる。この冊子では、明治大学商学部の学生たちが体験した、いくつかの現場を紹介します。

CONTENTS

- | | | | |
|--------|-------------------------------|--------|--------------------------------|
| 02 ▶▶▶ | OB メッセージ | 15 ▶▶▶ | 時代を拓いてきた歴史- 明治大学商学部 沿革- |
| 03 ▶▶▶ | CASE1 チームはまるで会社の組織 模擬ベンチャーに挑戦 | 17 ▶▶▶ | CASE9 ホンダと明大生のハイブリッド授業 |
| 05 ▶▶▶ | CASE2 千代田区と三浦市の架け橋「なごみま鮮果」 | 19 ▶▶▶ | CASE10 千代田区長に提案！新しいコミュニケーションの形 |
| 07 ▶▶▶ | CASE3 大学生の、大学生による、大学生のためのお菓子 | 21 ▶▶▶ | CASE11 1ヶ月の売上目標は10,000,000円 |
| 08 ▶▶▶ | CASE4 学生をエコ化する計画、推進中！ | 22 ▶▶▶ | CASE12 ビジネスの諸分野を英語でディベートせよ |
| 09 ▶▶▶ | CASE5 「読む」立場から「書く」「売る」現場へ | 23 ▶▶▶ | CASE13 88万人に届け！MAPに込めた交流の想い |
| 11 ▶▶▶ | CASE6 真の情報は『奥美濃カレー』発祥の地にあった！ | 25 ▶▶▶ | CASE14 覆面調査を通じて駅の売店を元気に！ |
| 12 ▶▶▶ | CASE7 エプソン販売から呼び出しがなかった | 27 ▶▶▶ | CASE15 農業にマーケティング発想を |
| 13 ▶▶▶ | CASE8 環境問題を実験 解決へメッセージを発信！ | 29 ▶▶▶ | OG メッセージ |
| | | 30 ▶▶▶ | 最高の商学を学びたい皆さんへ 制作メンバー 一同 |